

講義名	現代ビジネス			授業形態	
担当教員	岡村 俊一郎	開講期・曜日・時限		後期 木曜日 1時限	
		単位数	2	履修開始年次	2年生
主題と概要					
現代において、企業経営という「現象」をより深く理解するためには、いわゆる「経営学」や「マーケティング」だけでなく、さまざまな学問領域（例：経済学や心理学）の考え方も駆使することが求められるようになっている。この科目では、現代の企業経営を読み解くうえで重要な意味を持つ概念やキーワードをさまざまな学問領域から取り上げ、関連する事例を交えながら、それらを概観する。					
到達目標					
本講義の主題は本学のディプロマポリシーに沿ったものであり、それは、企業経営や組織行動において発生する課題や問題に対し、論理的な思考に基づき、具体的な改善策や解決策の提案ができるようになることである。 具体的には、以下の四点である。 (1) いま注目される現代のビジネスを経営学の観点から理解できるようにする。 (2) ビジネス関連の記事に関心をもつようになり、その記事を解説できるようにする。 (3) 自ら現代のビジネスに関連する新聞記事などの情報を収集し、分析できるようにする。 (4) 現代ビジネスの仕組み、とくにその経営を、理論に基づき、自ら考え、理解することができるようになる。					
提出課題					
(1) 授業回ごとに小テストへの回答やコメントペーパーの提出を求める。 (2) 複数回の授業内容を総括したレポート課題の提出を求める。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
(1) いずれの課題も、実施後の授業にて全体向けにフィードバックする。 (2) 期末レポート課題については、別途オンラインツールを使って全体向けのフィードバックを行う。					
評価の基準					
(1) 「小テスト・コメントペーパー」： 30% + 中間レポート： 30% + 期末レポート： 40% で評価する。 (2) 期末レポートが未提出の場合は、自動的に「放棄」として扱う。 (3) 6回以上の講義欠席は、自動的に「放棄」として扱う。ただし、これは「5回までなら欠席して良い」という意味ではない。 (4) 欠席届の対象となる事由によって欠席した場合は、所定の手続きを行った場合のみ配慮する。					
履修にあたっての注意・助言他					
(1) 公共交通機関の遅延以外の理由による15分以上の遅刻は、その日の受講や課題提出を認めるが、欠欠は「欠席」として扱う。ただし、これは「15分以内なら無条件に遅刻しても良い」という意味ではない。 (2) 他の受講生の迷惑となる行為は厳禁とし、違反者は厳重に対応する。場合によっては退出を命じることもある。					
教科書					
.使用しない.					
参考図書					
.ザックリ経営学.		中川功一	クロスメディア・パブリッシング	1958	9784295407454

その他		
(1) 講義資料は、授業回ごとにキャンパスクロスにアップロードするので、各自で確認すること。教室内での印刷物の配布は行わない。スマートフォンでの閲覧は推奨しない。 (2) 記載以外の参考図書は、各授業回において通覧案内する		
授業計画		
01. エントリーダクション 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、本講義の構成や成績評価や注意事項を確認し講義に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に説明された内容を確認し、その内容に沿った態勢で授業に臨めるように準備すること（120 分）		
02. アダプション・エコノミー 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
03. ラグジュアリー・ビジネス 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
04. 製品・サービスの価格設定 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
05. 雇用主ブランディング 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
06. ジョブ・クラフティング 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
07. 健康経営 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
08. ビジネスと感情 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
09. 社会のなかの企業 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
10. ビジネスと人権 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
11. ビジネスとIT 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分） 復習内容：授業中に自ら作成した講義 ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深め、授業回のトピックに関する情報を確認すること（120 分）		
12. ビジネスとAI 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料、共通資料 を見たうえで、その授業回の主なトピック、キーワードをまとめ、講義 に出席すること（120 分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A/L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
この科目では、現代の企業経営にみられる様々な事象について、経営学とその周辺領域の理論や考え方をを用いて理解できるようになることを目指す。 この達成により、企業マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力の習得が期待できる。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
・小テスト課題やレポート課題は、オンラインツールを活用して実施する。 ・授業内での発言（またはオンラインツールへの書き込み）を求める可能性がある。		
実務経験の有無及び活用		
備考		